
小学生日記

北岡 律

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小学生日記

【Nコード】

N6721B

【作者名】

北岡 律

【あらすじ】

少年探偵団の日常です！！一応、一人ずつ焦点を当てて行く予定です。

1・円谷光彦の朝

彼の朝はいつもどおり、規則正しく始まった。

ジリリリリ、ジリリリリ

小学生になった時、父方の祖父にもらったレトロなデザインの目覚時計がけたたましく鳴る。

光彦は青いチエック柄のベッドからもぞもぞと這い出した。机の上に置いた目覚時計をとめる。

まだ眠い。だが今日も学校だ。もう一眠りしたくなるのを堪えて、着替えを始めた。

箆笥から組み合わせを考えながら、服を選び出す。そうして仮面ヤイバーのプリントされたお気に入りのパジャマのボタンに手をかけた。

着替えを済ませたら、ベッドを整え。

カーテンを開けば今日も快晴。いい天気だ。

今日は何をして遊びましょうか。きつと元太くんは遅刻ですよ。

歩美ちゃんは今日も可愛くて、コナンくんは今日も授業中居眠りして小林先生に怒られるかもしれません。灰原さんは…昨日は風邪でおやすみでした。今日は大丈夫でしょうか…？

そんなことを考えながら昨日のうちに時間割りどおり揃えて置いたランドセルを背負って、朝食を食べるべく、リビングへと向かった。

「いつてきますー!」

「行って来るねー」

光彦と姉は共に家を出る。とはいえ途中で分かれて、光彦は歩美と、姉は姉で友達と共に学校へと向かうのだが。

「ねえ、みつちゃん」

「なんですか？」

「もし今日ヒマならさ、友達…コナンくんとか言っただけ？と新しく出来た4丁目の公園行ってみなよ」

「ああ…迷路とか色々あるっていう…」

「そ、それぞれ。オープンして一週間たつけどまだ誰もゴールに着けなくて、途中でリタイアしちゃうんだって」

「へー。でも、コナンくんなら絶対そんなのすぐ抜けちゃいますよ！！」

「でしょ。あんまり難しいから最初にゴールした人に賞品、あるんだってよー？行ってみれば？」

「はいっ、みんなに話してみます！！」

そんなことを話しているうちに姉と別れる曲がり角のポストが見えてきた。

「じゃあね、みつちゃん」

「では」

軽く手をあげて別れると、一人道を歩きながら光彦は考えた。

いいですねー。今日休み時間にみんなに話してみましよう！！

少年探偵団、出動です！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6721b/>

小学生日記

2011年1月23日02時25分発行